

音楽ドキュメント

ララ、歌は流れる

— 中山晋平物語 —

DVD 92分

「カチューシャの唄」「ゴンドラの唄」「船頭小唄」
そして「シャボン玉」「雨降りお月」「肩たたき」
など… 21曲が流れます。
大衆に愛される数々の名曲を残した
中山晋平の生涯を描く!!

[特別出演]

山下洋輔
夢慧
宮川有美



ナレーション
島倉千代子

いつまでも残しておきたい日本の歌 100選に中山晋平の歌は6曲選ばれています。
大正・昭和の時代に日本人の心に残る名曲を作曲した中山晋平の実像を追いかけます。

広く大衆に愛された作曲家中山晋平は、明治二〇年中野市新野の代々名主を務めた旧家の四男に生まれしました。父は村人のために骨身惜しまず働く人でしたが、晋平が小学校一年生のときこの世を去ってしまいました。残された子どもたちを育てるため、死にもぐるいで働く母・ぞうに晋平は「高等小学校に行かないで畑仕事をしなさい」と言うやさしい子どもでした。晋平は小学校の代用教員になり、クラスの子どもたちに唱歌指導をするなかで音楽の道を目指す決意をかためます。そのころ早稲田大学の島村抱月が書生を求めていることを知り東京に出ました。抱月の書生をしながら晋平は東京音楽学校を卒業し、小学校の音楽専科の教師になります。二年後松井須磨子演ずる「カチューシャの唄」の作曲を抱月から頼まれます。悩み苦しみながら、それまでの日本にはなかった新しいメロディをつくりあげました。これが演劇「復活」と共にヒットしました。抱月と須磨子の恋は悲劇的に終わりますが、晋平は野口雨情、西条八十八と組んで大正デモクラシーの中ではじまり、発展した童謡運動に加わりました。晋平の童謡は子どもたちに歓迎され、今も歌い継がれています。

出演 藤木勝則 小林雅彦 中山幸子 高池慎一 金井 保 春日晃一 山口修三 中村洋一

製作スタッフ 製作 石井修吾 原作・脚本 和田 登 監督・脚本 野口清人 照明・撮影 太田久道
録音 清水亮太郎 編集 小林 悟 衣装 飯島久子 大岡俊江
音楽 戸塚 亮 プロデューサー 岡野和夫 松原京子

企画制作 「ララ、歌は流れる—中山晋平物語—」製作委員会・有限会社長野映研
撮影協力 中山晋平少年少女合唱団・信濃映像記録

製作・発売 有限会社長野映研 TEL 026-232-1226 FAX 026-232-8387